

(貸切バス) 初任運転者・準初任運転者 特別記録用紙

| 役員 | 営業所長 | 運行管理者 |
|----|------|-------|
|    |      |       |

| 運転者氏名        | 所属営業所                            | 本社営業所 |
|--------------|----------------------------------|-------|
| 生年月日(専任時年齢)  | 1967 年 12 月 27 日                 |       |
| 採用年月日        | 2025 年 1 月 6 日                   |       |
| 雇入時健康診断受診年月日 | 2024 年 11 月 20 日                 |       |
| 適正診断(初任)年月日  | 2025 年 1 月 17 日                  |       |
| 運転者専任年月日     | 2025 年 2 月 1 日                   |       |
| 実施年月日        | 2025 年 1 月 7 日 ~ 2025 年 1 月 29 日 |       |
| 指導時間内訳       | 座学 10 時間 / 実技 22 時間              |       |

## 【初任運転者指導項目】選任する前に①～⑤項目については、必ず実施する。

- 座学(①から⑤合計10時間以上)  実技指導(20時間以上)
- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)
- ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項(シートベルトの着用徹底等)
- ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導)
- ⑤ ASV車両の適切な運転方法
- ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正(※)
- ⑦ 安全運転の実技(当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗等により指導)

## 【準初任運転者指導項目】 □上記①から⑦のうち、④(制御装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施

※準初任運転者は過去1年間に運転経験した車両より大型のバスに乗務する前に実施する

## 【実施した具体的な指導内容】

「初任運転者に対する指導・教育テキスト」を教本として使用し、①から⑥の項目を7日、8日、9日、10日、31日の5日間にわたって指導した(各日2時間ずつ)。指導後に各項目にそった理解度テストを行い、各運転者の理解度をチェックした。

実技ルート 14日・ルート1 15日・ルート2 16日・ルート2 24日。ルート5 27日・ルート5 29日・ルート1  
実技指導は、14日・15日・16日・24日・27日・29日/までの6日間かけて、添乗指導を実施した。  
各日午前中3時間、又は午後4時間

発進前の措置、安全な発進と停止、交差点通過、駐車車両の側方通過、ハンドル・ブレーキ操作などを指導。とくに坂道でのペダル操作などを念入りに確認した。

また、乗客の事故はシートベルト非装着時に多発していることを強調し、発進前の乗客へのアナウンスなどを指導した。

子供など小さな歩行者が死角に入って運転席から見落とす危険が多いので、バスの近くにポールを置き、頭を動かして確認して見ることも体験的に指導した。車種区分：大型

## 【配布資料】

- ・ 初任運転者に対する指導・教育テキスト
- ・ 日常点検表
- ・ ドライブレコーダーのイベント記録出力紙

- ※ 1 使用したテキスト、配布資料の記録等を添付すること。
- 2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付する
- 3 指導実施後は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

|                          |       |     |
|--------------------------|-------|-----|
| 受講終了日<br>2025 年 1 月 31 日 | 受講者氏名 | (印) |
|--------------------------|-------|-----|